



日本証券業協会
Japan Securities Dealers Association

資料 5

IOSCO協力会員諮問委員会（AMCC） 中間会合等の模様について

IOSCO

2024年12月
日本証券業協会

AMCC中間会合等の概要（その1）

1) 開催日	2024年10月29日-30日 AMCC中間会合、10月30日-31日 AMCC 研修セミナー		
2) 開催地	カナダ（トロント）	3) 参加者	中間会合 約50名、研修セミナー 約50名

4) 今回のポイント

■ **本中間会合**においてIOSCO及びAMCCによる主な取組みの進捗報告が行われた。

- IOSCOでは、2025-2026年度に注視すべき**将来的な主要リスクのとりまとめ**が行われている。
 - ①地政学的な分断や気候変動といった**国際的な課題に係るリスク**
 - ②サイバーリスクや先端技術（生成AIや量子コンピュータ）等といった**金融セクターでの技術に係るリスク**
 - ③データの質と標準化等といった**データに係るリスク**
 - ④投資家層の変化、暗号資産、プライベートファイナンス、ノンバンク金融仲介等といった**その他の新たなリスク**
- IOSCOでは、AIの利用状況、トークン化有価証券の市場動向、暗号資産に係る規制動向、トランジション計画の開示について**実態把握のための取組み**が進められている。また、自主的なカーボン市場に係る**グッド・プラクティスのとりまとめ**や国際監査・保証基準審議会（IAASB）及び国際サステナビリティ基準審議会（ISSB）といった他の**国際基準設定団体との連携・支援**も進められている。今後、IOSCOでは、2024年作業計画のとおり、AIの利用状況等をまとめた報告書を2025年第1四半期までにとりまとめるべく対応予定。
 - ※ 11月、IOSCOは、IAASBによるサステナビリティ開示の保証に係る国際基準の策定を歓迎する旨の声明、トランジション計画の開示に係る報告書及び自主的なカーボン市場に係る報告書を発出済み

AMCC中間会合等の概要（その2）

1) 開催日	2024年10月29日-30日 AMCC中間会合、10月30日-31日 AMCC 研修セミナー		
2) 開催地	カナダ（トロント）	3) 参加者	中間会合 約50名、研修セミナー 約50名
4) 今回のポイント（続き）			

- **本中間会合**においてIOSCO及びAMCCによる主な取組みの進捗報告が行われた。
 - AMCCでは、**規制上の分断状況を取り上げた年次レポート**（金融機関の資本規制（バーゼルⅢ）やデジタル資産に係る規制の分断等）のとりまとめを行ったほか、AIやサステナブルファイナンスに係るサーベイ等を通じた**IOSCOでの実態把握に係る連携・協力**を進めている／予定している。また、インデックスプロバイダーに係る課題についてもIOSCOと連携しながら引き続き検討が進められている。
- 中間会合の後に開催された**新興市場規制当局向けの研修セミナー**では、AMCCメンバーから債券市場の動向、取引所機能、サイバーリスク、AI等の技術利用、投資家保護等に関する昨今の動向や課題の説明が行われ、**本協会 国際規制調査室は「投資家保護」のパネルディスカッションにおいてモデレーター兼パネリストとして登壇した。**

AMCC中間会合：プログラム

2024年10月29日（火） AMCC中間会合 プログラム（1）

9:00 – 9:30	歓迎の辞、議事録の承認、アジェンダの承認（AMCC事務局）
9:30 – 11:00	AMCCの運営と在り方について（全体）
11:15 – 11:45	IOSCO Fintech taskforceより進捗報告（IOSCO事務局、米SEC、FCA）
11:45 – 12:15	AMCC AI WGより進捗報告（FINRA）
12:15 – 12:45	AMCC 規制上の市場分断（ISDA）
12:45 – 13:00	クレジット・デリバティブの決定委員会の見直し（ISDA）
14:00 – 14:30	サイバーセキュリティに係るサーベイの紹介（ICI）
14:30 – 15:00	インデックスプロバイダー関連の取組み（ANBIMA、ICI）
15:00 – 16:00	サステナブルファイナンス関連の取組み（IOSCO事務局、WFE）
16:15 – 17:45	トークン化に関するラウンドテーブル（IOSCO事務局、NFA、全体）

2024年10月30日（水） AMCC中間会合 プログラム（2）

9:00 – 9:30	開会及び前日の振り返り（AMCC事務局）
9:30 – 11:00	将来的な主要リスク（IOSCO事務局、OSC、CPMI）
11:15 – 12:45	AMCCの運営と在り方について議論結果と今後について（全体）
12:45 – 13:00	閉会

AMCC研修セミナーの概要及びプログラム

1) 開催日	2024年10月30日～31日
2) 開催地	カナダ（トロント）
3) 今回のポイント	<p>AMCCの中間会合では規制当局のキャパシティビルディングを目的とした研修セミナーが併せて開催される。今般の本セミナーでは、AMCCメンバーから債券市場の動向、取引所機能、サイバーリスク、AI等の技術利用、ファンド関連規制、倫理、投資家保護に関して説明を行うセッションが設けられた。</p> <p>本協会 国際規制調査室は、「投資家保護」のパネルディスカッションにおいてモデレーター兼パネリストとして登壇し、他のパネリストと共に米国及びカナダにおける若年層の投資家の動向（ソーシャルメディアとデジタルエンゲージメント・プラクティスの影響）及び規制への示唆並びに日本における高齢投資家保護の取り組みの紹介を行った。</p>

2024年10月30日（水） AMCC研修セミナー プログラム（1）

13:30 - 13:45	歓迎の辞（AMCC事務局）
13:45 - 15:15	市場発展 - 債券市場の動向、取引所の役割等、FMSBの取組紹介-（ICMA、WFE、FMSB）
15:30 - 17:00	リスク管理 - 技術と規制-（NFA、ICI、LSEG）

2024年10月31日（木） AMCC研修セミナー プログラム（2）

9:00 - 12:00	倫理（CFA International）
13:00 - 14:00	サステナブルファイナンス（IFAC、ANBIMA、NGX Regulation）
14:00 - 15:15	投資家保護（日本証券業協会、FINRA、カナダ・オンタリオ州証券委員会（OSC））
15:30 - 16:45	ファンド規制（ICI）
16:45 - 17:00	閉会

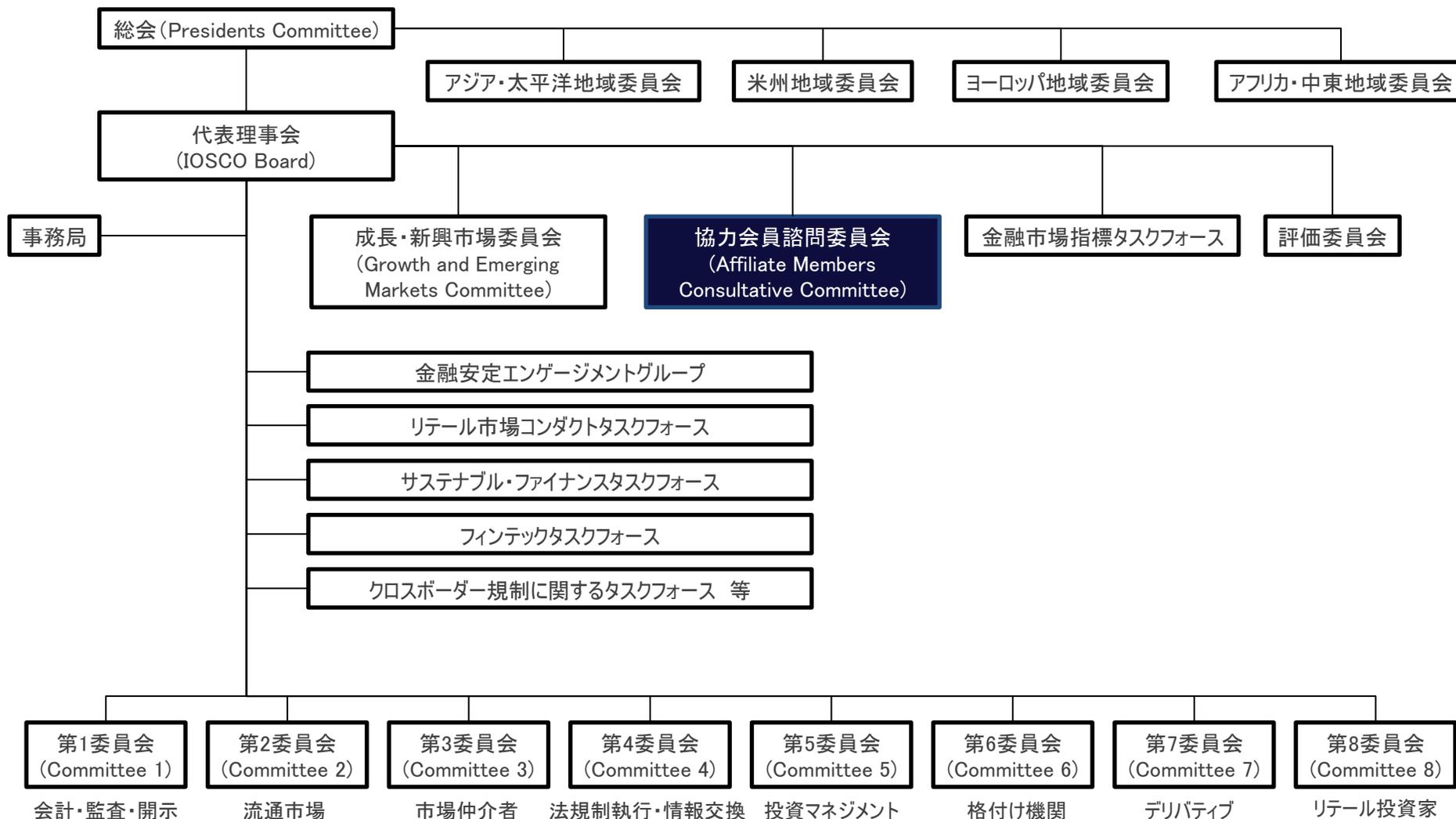
会合概要

(参考) IOSCOの組織・概要等

(参考) IOSCO/AMCCの組織・概要①

会議名	証券監督者国際機構／協力会員諮問委員会 (IOSCO : International Organization of Securities Commissions) (AMCC : Affiliate Members Consultative Committee)
IOSCOの設立目的	<ol style="list-style-type: none">1. 投資家を保護し、公正かつ効率的で透明性の高い市場を維持し、システミックリスクに対処することを目的として、国際的に認識され、一貫した規制・監督・執行に関する基準の適切な遵守を確保し促進するために協力すること2. 公正行為に対する法執行や、市場・市場仲介者への監督に関する強化された情報交換・協力を通じて、投資家保護を強化し、証券市場の公正性に対する投資家の信頼を高めること3. 市場の発展への支援、市場インフラストラクチャーの強化、適切な規制の実施のために、国際的に、また地域内で、各々の経験に関する情報を交換すること
IOSCOの設立時期	1974年に設立された米州証券監督者協会を母体とし、1980年代以降に欧州・アジア諸国の機関が加盟。1986年のパリ総会において、現在の証券監督者国際機構という名称に改められた。
IOSCOのメンバー	IOSCOのメンバーには、正会員 (Ordinary Member)、準会員 (Associate Member)、協力会員 (Affiliate Member) の区分がある。我が国からは、金融庁、経済産業省及び農林水産省が正会員として、証券取引等監視委員会が準会員として、日本証券業協会及び日本取引所グループ/日本取引所自主規制法人が協力会員として、それぞれ加盟。
AMCCの概要と活動	<p>本協会が加入する協力会員諮問委員会 (AMCC) は、1989年に事務局長のイニシアティブにより設置された自主規制機関諮問委員会 (SROCC) が、協力会員の属性の多様化に伴い、2013年9月に名称変更されたもの。現在、約60の機関が加入している。</p> <p>AMCCの主な機能としては、協力会員としてIOSCOに参加している自主規制機関の知見及び意見をIOSCOの政策委員会の議論に反映させ、グローバルな規制環境の適正な整備に資することや協力会員間の意見交換等。同委員会の会合は通常年2回 (IOSCO年次総会時の会合及び中間会合) 開催。</p> <p>議長は、カナダ投資規制機構 (CIRO) のアンドリュー・クリーグラーCEO (2024年5月就任)。なお、2006～2012年の間、本協会が旧SROCCの議長を務めた。</p>

(参考) IOSCO/AMCCの組織・概要②



(参考) IOSCO年次総会の開催実績・予定

	IOSCO年次総会	AMCC中間会合及び研修セミナー	
2006年	香港 (6月)	スペイン マドリッド (11月)	中間会合のみ
2007年	インド ムンバイ (4月)	東京 (11月)	中間会合のみ
中略			
2014年	ブラジル リオデジャネイロ (9月)	東京 (4月)	第7回研修セミナー
2015年	英国 ロンドン (6月)	スイス チューリッヒ (10月)	第8回研修セミナー
2016年	ペルー リマ (5月)	米国 シカゴ (9月)	第9回研修セミナー
2017年	ジャマイカ モンテゴベイ (5月)	インド ムンバイ (9月)	第10回研修セミナー
2018年	ハンガリー ブタペスト (5月)	英国 ロンドン (10月)	第11回研修セミナー
2019年	オーストラリア シドニー (5月)	スペイン マドリッド (12月)	第12回研修セミナー
2020年	ウェブ開催 (11月)	ウェブ開催 (11月)	第13回研修セミナー
2021年	ウェブ開催 (11月)	ウェブ開催 (6月)	中間会合のみ
2022年	モロッコ マラケシュ (10月)	ウェブ開催 (7月)	中間会合のみ
2023年	タイ バンコク (6月)	ウェブ開催 (3月)	中間会合のみ
2024年	ギリシャ アテネ (5月)	スペイン マドリッド (2月)	第14回研修セミナー
		カナダ トロント (11月)	第15回研修セミナー
2025年	カタール ドーハ (5月)	未定	未定